

二十歳おめでとらございます

猿払村二十歳を祝う会 1/3

人生の目的を見つけ絶対の幸福を追い求めましょう

ななかまど

令和8年2月1日(日)
第91号
一般社団法人
猿 払
ななかまどの会
会 報



1月3日に「猿払村二十歳を祝う会」が交流センターで開催されました。



私が現職最後の在校生でした。確か2年生だったと思います。みんな面影があり、立派な成人になったな一と感じました。年齢を重ねてくると、まるでタイムマシンに乗ったかのように子どもたちが大人になってしまします。「光陰矢のごとし」と言われますが、保護者の子育ての大変さも「あつ」という間「なんですね。現在「子育て真っ最中」のお父さん、お母さん、今は大変かもしれませんが、

もうすぐ子育ては終わります。それまで子育てを楽しみましょう。

タイトルに「絶対の幸福を追い求めましょう」と書かせてもらいました。望みが叶うとか、なりたい職業に就くとか、好きな人と結ばれて幸せな家庭を築くとか「幸福」の定義は人様々です。でもその幸福はすべてとは続きません。会社がつぶれてしまったとか、些細なことでもケンカして離婚してしまったりとか、いつか壊れてしまう幸せの方が多いのです。建築家になりたい、科学者になりたい、お金持ちになりたい等は長い人生の「過ごし方」「生きる方法」であって決して「人生の目的」ではないのです。では人生の目的とは何でしょう。「絶対の幸福」を見つけ、つかみ取ることで

二十歳を迎えた皆さんに人生洋々たることを祈念します。

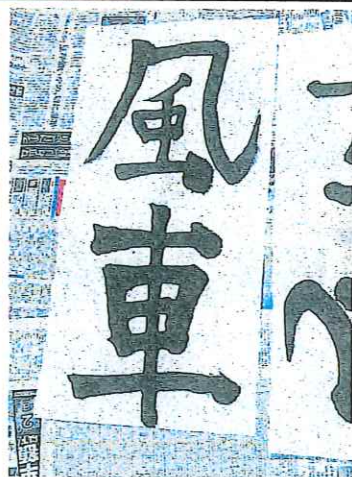
楽遊館の2F、多目的ホールに遮光カーテンがつかまりました。

主に焼き肉や会食を伴う交流会などで利用されている楽遊館の多目的ホールですが、研修会や会議などで使われることもあります。

その時にプロジェクターを使ってプレゼンテーションをしたり、動画を見せたりすることが何度かありました。その時に要望されて



いたことが、「遮光カーテンがあれば」でした。今年農業関係の研修会の予定も入っていることから思い切ってカーテンをつけました。プロジェクターやパソコンは持ち込みですが、今まで以上に多目的に使えると思いますので是非ご利用ください。



書初め体験教室のお手伝い 1/10

毎年このことで、書道教室の2人が講師となつて、教育委員会主催の「書初め体験教室」のお手伝いをしてきました。



参加者は8人でした。各学校でも取り組んでくれているようで、少なくなつたのかと思われまます。習字教室の生徒2名も参加し、はじめて体験する子は1年生と3年生の4人。3年生は学校で習字の授業が始まる学年です。

1年生は技術云々かんぬんではなく、太い筆にどれだけ立ち向かっていくか、集中心力がどこまで続くのかが毎年の課題です。今回も書き終わった時には床に寝転がるなど精根尽き果てていました。作品は1月27日から2月16日まで役場1Fロビーに展示されます。

宗谷美術展が78回の幕を下ろします

私もおよそ30年関わってきた「宗谷管内児童生徒美術展」が今年度をもって閉幕することになりました。昭和22年、宗谷新聞社が稚内市内の図工の先生に声をかけスタートした美術展です。児童・生徒の数も増え、規模も管内に広がり、稚内市教育研究会の図工美術部会が事務局になって、審査員も「先生方の研修の場」ということで部会員や各学校の絵に興味のある先生が行ってきました。「この絵はどう描かせるの」との質問に実際に指導した先生を囲んで研修し、自分たちの力量を高めていきました。スポンサーも高林デパートや保険会社とかわかり、一時期閉幕の危機もありましたが、「管内の子どものため」と続けてきました。1月21日と2月4日まで稚内市文化センターで開催中。